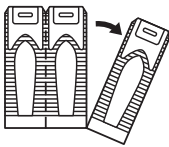
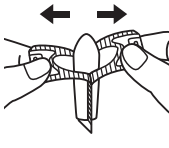
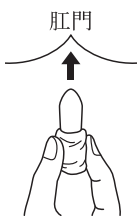
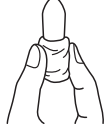
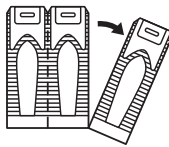
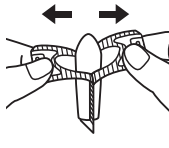
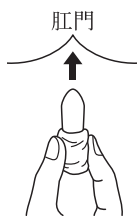
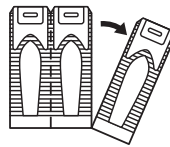
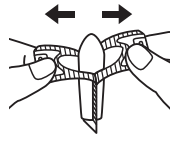
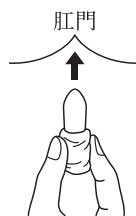
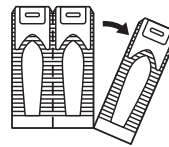
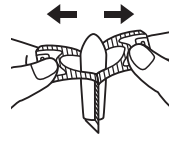
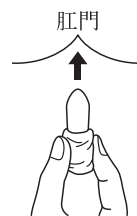


坐剤の使い方 1. 坐剤の取り出し方 ① ミシン目にそって、1個分を切り離します。  ② 取り出し口の穴の所を手でつまみ、左右に引っばって坐剤を取り出します。  2. 挿入の仕方 ① ティッシュペーパーなどで坐剤の後部を包んで持ち、先のとがった方から肛門内に挿入します。  ② 中腰になって坐剤の3/4ほどを入れた後立ち上がれば、簡単に挿入できます。 	坐剤の使い方 1. 坐剤の取り出し方 ① ミシン目にそって、1個分を切り離します。  ② 取り出し口の穴の所を手でつまみ、左右に引っばって坐剤を取り出します。  2. 挿入の仕方 ① ティッシュペーパーなどで坐剤の後部を包んで持ち、先のとがった方から肛門内に挿入します。  ② 中腰になって坐剤の3/4ほどを入れた後立ち上がれば、簡単に挿入できます。 	坐剤の使い方 1. 坐剤の取り出し方 ① ミシン目にそって、1個分を切り離します。  ② 取り出し口の穴の所を手でつまみ、左右に引っばって坐剤を取り出します。  2. 挿入の仕方 ① ティッシュペーパーなどで坐剤の後部を包んで持ち、先のとがった方から肛門内に挿入します。  ② 中腰になって坐剤の3/4ほどを入れた後立ち上がれば、簡単に挿入できます。 	坐剤の使い方 1. 坐剤の取り出し方 ① ミシン目にそって、1個分を切り離します。  ② 取り出し口の穴の所を手でつまみ、左右に引っばって坐剤を取り出します。  2. 挿入の仕方 ① ティッシュペーパーなどで坐剤の後部を包んで持ち、先のとがった方から肛門内に挿入します。  ② 中腰になって坐剤の3/4ほどを入れた後立ち上がれば、簡単に挿入できます。 
3. 挿入前の注意 ● 薬の挿入時間は医師などの指示によりますが、出来るだけ排便後に挿入して下さい。 4. 挿入後の注意 ● 挿入後しばらくは異物感が残りますが、がまんして下さい。 ● 坐剤が外に出ないようにするため、挿入後はしばらく運動を避けて下さい。 5. その他の注意 ● この薬は、高温を避けて保管(1~30℃)して下さい。 ● 高温になる所に放置すると、薬が溶けて変形することがあります。 ● この薬は、服用したり、口の中に入れたりしないで下さい。 ● 薬の量は、医師などの指示を正しく守って下さい。 ● この薬は、体温で溶けるようになっていきます。そのため、あぶら様の排泄物が出ることがありますが、それは薬の基剤ですから心配はいりません。 J-2	3. 挿入前の注意 ● 薬の挿入時間は医師などの指示によりますが、出来るだけ排便後に挿入して下さい。 4. 挿入後の注意 ● 挿入後しばらくは異物感が残りますが、がまんして下さい。 ● 坐剤が外に出ないようにするため、挿入後はしばらく運動を避けて下さい。 5. その他の注意 ● この薬は、高温を避けて保管(1~30℃)して下さい。 ● 高温になる所に放置すると、薬が溶けて変形することがあります。 ● この薬は、服用したり、口の中に入れたりしないで下さい。 ● 薬の量は、医師などの指示を正しく守って下さい。 ● この薬は、体温で溶けるようになっていきます。そのため、あぶら様の排泄物が出ることがありますが、それは薬の基剤ですから心配はいりません。 J-2	3. 挿入前の注意 ● 薬の挿入時間は医師などの指示によりますが、出来るだけ排便後に挿入して下さい。 4. 挿入後の注意 ● 挿入後しばらくは異物感が残りますが、がまんして下さい。 ● 坐剤が外に出ないようにするため、挿入後はしばらく運動を避けて下さい。 5. その他の注意 ● この薬は、高温を避けて保管(1~30℃)して下さい。 ● 高温になる所に放置すると、薬が溶けて変形することがあります。 ● この薬は、服用したり、口の中に入れたりしないで下さい。 ● 薬の量は、医師などの指示を正しく守って下さい。 ● この薬は、体温で溶けるようになっていきます。そのため、あぶら様の排泄物が出ることがありますが、それは薬の基剤ですから心配はいりません。 J-2	3. 挿入前の注意 ● 薬の挿入時間は医師などの指示によりますが、出来るだけ排便後に挿入して下さい。 4. 挿入後の注意 ● 挿入後しばらくは異物感が残りますが、がまんして下さい。 ● 坐剤が外に出ないようにするため、挿入後はしばらく運動を避けて下さい。 5. その他の注意 ● この薬は、高温を避けて保管(1~30℃)して下さい。 ● 高温になる所に放置すると、薬が溶けて変形することがあります。 ● この薬は、服用したり、口の中に入れたりしないで下さい。 ● 薬の量は、医師などの指示を正しく守って下さい。 ● この薬は、体温で溶けるようになっていきます。そのため、あぶら様の排泄物が出ることがありますが、それは薬の基剤ですから心配はいりません。 J-2